学校番号	T3011

令和８年度　工業科（HS 系列）

教科	工業	科目	課題研究	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実習の作業を通して色々な工業分野の技術を習得し、新しい技術に自分から対応できる能力と態度を育てる。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
工業に関する課題を発見し、工業に携わる者として独創的に解決策を探究し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ものつくりに関する工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれた在り方および現代社会における工業の意義や役割を理解している。	ものつくりに関する工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身につけている。	ものつくりに関する工業技術に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展をはかる創造的・実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期		課題の選定 課題研究の進め方を決める 課題製作･調査 進捗状況の確認･修正 取組に関する検討 課題研究発表会の準備	a:実習作業を通して各専門分野の基礎的な技術を総合的に習得している。 b:実習の各分野の基礎的な技術を総合的に思考、どの技術利用できるか判断できる。成果を表現できる。 c:協同作業を通して目的達成の意義を学ぶ。また、技術革新にも自ら対応できる能力と態度が身についている。	出席 作品 授業態度	出席 作品 授業態度	出席 作品 授業態度
後期		進捗状況の確認･修正 取組に関する検討 課題研究発表会の準備 発表練習 発表会 反省会	a:実習作業を通して各専門分野の基礎的な技術を総合的に習得している。 b:実習の各分野の基礎的な技術を総合的に思考、どの技術利用できるか判断できる。成果を表現できる。 c:協同作業を通して目的達成の意義を学ぶ。また、技術革新にも自ら対応できる能力と態度が身についている。	出席 作品 授業態度	出席 作品 授業態度	出席 作品 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度